

新しくなった

南部清掃工場 & バイオマス発電所 見学バスツアー

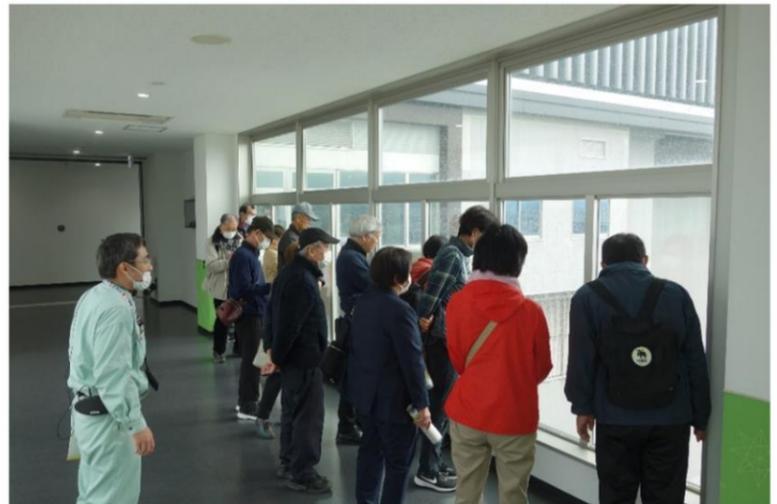


令和6年1月19日金曜日に、南部清掃工場 & バイオマス発電所見学バスツアーを開催しました。

未来館を出発しバスの車内で、環境カウンセラーの木下慎吾さんに、普段出しているごみの処理についてお話がありました。リチウムイオン電池の不適切な廃棄による、ごみ収集車の火災が全国で起きていることや、日本全体の最終処分場があと23年しかもたないことなど、今後のごみ処理について考えなおす機会になりました。また、メモ紙なども古紙類に分けることでゴミを減らすことができるというアドバイスがあり、日々の小さなことから頑張っ取り組もうと思いました。



講師 環境カウンセラー
木下 慎吾さん



南部清掃工場ではスタッフの方に施設の案内をしていただきました。2年前に新しくできたバイオガス施設についても、展示や実物をみながら説明していただきました。バイオガス施設では、毎日60tのごみを処理しながら発生したバイオガスをそのまま都市ガスにパイプで送り、各家庭で利用されているそうです。この仕組みは、日本初！とても大きな発酵槽で、14日間かけて発酵するそうで、スケールの大きさにびっくりしました。

七ツ島バイオマス発電所では、スタッフの方に案内していただきながら工場内をバスで見学しました。バイオマス発電では、二酸化炭素を吸収している植物を燃料に使うことで実質の二酸化炭素の排出はゼロであることや、現在の燃料の10%は県内産の間伐材を使用し、90%はPKS(ヤシ殻)やペレットを輸入しているという実情をお話いただきました。PKSの貯蔵エリアに降りると、繊維質の独特な香りがしました。



帰りのバスの中では、木下さんから地球で起きている問題や私達にできることなどをお話いただきました。海洋プラスチックの問題では、「人は1週間でキャッシュカード1枚分のマイクロプラスチックを食べている」というお話があり、受講者も衝撃を受けていました。また、SDGs(持続可能な開発目標)達成のためには、「難しいことをしようとしなくてよい、今できている持続可能なことを続けることが大事」というアドバイスをいただき、その上で、「プラスαでできることを取り組んでみましょう」とお話がありました。受講者アンケートでは、「素晴らしい工場だと思った。」「興味深く体験できた」とのお声があり、今回のバスツアーを通して、日頃の生活を見直し、受講者の皆さんがプラスαでできることを一つでも見つけて、実践していただけたら嬉しいです。